

ケーススタディ CHANNEL 4

オンライン動画の可能性を引き出す

Channel 4 は 300 社以上の独立系制作会社に番組制作を委託している、英国の放送業界で**最も革新的な放送局**として知られています。デジタルテレビの台頭に伴い Channel 4 は、E4、More4、Film4 といった幅広い TV チャンネルを追加し、channel4.com などのオンラインのアクティビティやサービスの拡大に継続的に取り組んでいます。



Brightcove の導入により、Channel 4 はすべてのコンテンツをオンライン化し、新たな視聴者を獲得、また、新たな収益源を生み出すことができました。

差別化の必要性

近年、Channel 4 は視聴者が利用するコンテンツの新たな手段としてオンライン動画が大幅に増加していることに注目してきました。その結果、インターネット TV においては、コンテンツプロバイダが新たな視聴者を引き付け、最終的には新たな収益源を構築する新しい手法が幅広く提供されています。Channel 4 は、消費者を参加させると同時に競合との差別化を図る、新しい画期的なメディアサービスを提供する必要性を早い時期から認識し、系列の TV チャンネルのラインアップを宣伝し、4oD サービス（Channel 4 のオンデマンドサービス）の導入を推進してきました。

Channel 4 New Media 社のオンライン動画担当ビジネスマネージャである Jen Topping 氏は、Channel 4 の新たなインターネット TV 用プラットフォームの展開を任せられ、channel4.com のユーザが短編動画をインタラクティブに視聴、議論することで、よりリッチなビジュアルエクスペリエンスを実現できる、オンラインポータル提供が求められました。コスト、時間の制約、保守費用の点から、社内開発のソリューションは避けることを決め、インターネット TV プラットフォーム専門のサプライヤにサービスを委託する道を選択したのです。

ブライトコーブソリューション

正式な提案依頼書に基づき、channel4.com のすべてのビデオクリップとオンライン専用素材のための短編動画プラットフォームのサプライヤとして Channel 4 が選んだのはブライトコーブでした。このプラットフォームを使用すれば、Channel 4 のもつ Web サイト（姉妹サイトの e4.com など）全体に動画コンテンツを組み込むことができます。

ケーススタディ CHANNEL 4

ブライトコープソリューション（続き）

「ブライトコープを選んだ主な理由は、同社のインターネット TV プラットフォームが明らかに他社より勝っていたからです」と Topping 氏は語ります。「ブライトコープは放送局のニーズを明確に理解していました。また、顧客リストには他局を含む多くのメディア企業が名を連ねており、当社が取り組もうとしたことへの実績が証明されました。」

Topping 氏は、ブライトコープは以下に挙げる重要な機能を提供しており、これが決定を大きく左右したと述べています。

- 将来性 - 配信技術への投資とアップグレードを継続的に行っている
Brightcove を使用すれば、Channel 4 がオンライン視聴者の要求に合わせてインターネット TV のサービスを組織的に拡大できる、という自信が持てます。
- 柔軟性 - ブライトコープは、メディアプロバイダがどのようにオンラインビジネスを運営していかなければならないかを明確に理解しているため、プラットフォームソリューションには柔軟性が備わっています。Channel 4 は、ビデオクリップやオンライン専用の動画素材のための製品ロードマップをブライトコープの製品ロードマップと一致させ、投資利益を最大化し、技術統合によって新たな効率性を実現できます。
- 効率性 - Channel 4 は、短編の動画コンテンツをできるだけ迅速にオンラインで展開したいと考えていました。ブライトコープは、社内で開発するよりはるかに短期間でこのプラットフォームを提供できるインフラと専門技術、知識を持っていたため、社内を選任の開発チームを配置する必要はありませんでした。
- 収益化のコントロール - ブライトコープのプラットフォームソリューションでは、広告の挿入および追跡に加え、ケースバイケースで視聴可能な国を限定することも可能です。

採用動画の増加

「ここ半年間に、当社のデジタル資産は、動画の視聴で、Brightcove 導入前の昨年同期に比べて 21% 増加しました」と Topping 氏は述べました。

「ブライトコープのプレーヤプラットフォームを導入したことで、メディアをインターネット上で公開するために必要な時間を大幅に削減でき、Channel 4 では、コンテンツ処理の高速化を実現できました。Brightcove のエンコーディングツールは非常に信頼性が高く、メタデータの挿入プロセスは簡単で正確です。」

プレーヤを導入したことにより得られた最大の利点の 1 つは、コンテンツの検索機能が使用できることです。ユーザは、従来よりも効率よく動画を検索でき、さらに見つけた動画を他のサイトにシンジケートできます。これは、Channel 4 がさらなるブランド拡大を目指して取り組んでいる計画の一部で、Bebo などのソーシャルネットワーキングサイト（SNS）でのシンジケーションによって自社コンテンツを新たな視聴者に広めることができます。

Topping 氏は最後に次のように述べています。「短編動画のインターネット TV プラットフォームを提供するパートナーにブライトコープを選んだ Channel 4 の決定は、正しかったことが証明されました。ブライトコープは、常にサービスと技術の向上に取り組んでいます。これは、Channel 4 が視聴者に提供できるコンテンツの品質に直接影響することです。ブライトコープは、画期的なサービスを求める当社のニーズを満たし、両者は共に、競合の短編オンライン動画の限界を超えつつあります。」

